

## 令和5年度 第8回理事会議事録

公益社団法人日本ホッケー協会

1. 日 時 令和5年9月19日(火) 19:00開始
2. 場 所 ZoomによるWeb会議
3. 出席者 理事18名中、17名(開会時点出席12名、  
途中出席5名)、監事1名

(理事) 三須 和泰、石川 伸男、多氣 洋平、仁賀 建夫、  
中村 真理、永井 祐司、平尾 豊、奥田 好廣、  
久保 克敏、箸本 明雄、埴岡 隆、小林 真由美  
(途中出席) 高瀬 美保、奥田 竜子、桜木 由美子、  
柿田 亜矢子、安枝 和子

(監事) 花野 信子

### 4. 開会宣言

定刻、坂本事務局長が開会を宣言した。

### 5. 定足数の発表

(1) 坂本事務局長が、理事18名の内12名出席しているので本理事会は定款第39条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。また理事以外として、財務総括部萬納部長、財務総括部内山副部長、吉満事務局次長の出席、及びオブザーバーとして正会員・有識者代表のHJL真理事長の出席が報告された。

(2) 定款第38条に基づき三須和泰代表理事が議長に選出された。

(3) Zoom会議により出席者の音声即時に伝わり、一同に会するのと同様に適時・的確な意見表明が互いに出来る状態となっていることが確認された。その後、議題の審議に入った。

## 6. 審議事項

### ① 第一号議案 女子U17 第2回 MirnawanCup への出場

永井強化育成本部長から配付されている資料にもとづき説明が行われた。奥田好廣理事から「個人負担金はいくらの予定か？」との質問があり、永井本部長から「現在、旅行会社2社から見積を取っているが、航空運賃が高騰しているため20万円強になる予定」と説明があった。HJL 真理事長から、「資料として予算書を付けてもらわないとよくわからない。ただこの話がきて、強化育成本部内で全てのカテゴリーにおいて協議されたことは、正しい手順を踏んでいるので良いと思う。子供達にとって大きなチャンスなので、是非行かせてあげたい。」と話があった。平尾理事から「協会が負担する大会参加費20万円はどこから捻出するのか？」と質問があり、石川専務理事から「現時点でどこから捻出するかは決まっていない。10月末には寄付金の額もある程度見えてきていると思うので、補正予算もできればそれまでに組みたい」と説明があった。

審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く承認された。(高瀬理事は途中参加を理由に決議は棄権)

### ② 第二号議案 寄付金募集趣意書 (案)

仁賀戦略統括本部長から配付されている資料にもとづき説明が行われた。HJL 真理事長から、「寄付金募集は、趣意書を見ると今回のみとも読み取れるが、今回限りか、次年度以降の継続的なものか？」との質問があり、仁賀本部長から「まずはオリンピック予選までの寄付金集めが必要なためこのような趣意書を案内しているが、今後の継続的な制度についても検討したい」と説明があった。奥田好廣理事から「発起人については追加されると記載する必要はないか？」との質問があり、仁賀本部長から「発起人の追加は可能であるが、記載は不要と思う」と説明があった。

審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議なく承認された。

### ③ 第三号議案 ホッケータウン認定

柿田理事からホッケータウン認定について、「飯能市」から追加で申請があったと報告があった。

審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議なく承認された。

#### 4. 報告事項

##### ① 資金繰り表のアップデート

内山財務総括副部長から配付されている資料にもとづき、資金繰り見込みの状況について報告があった。8月22日に承認された補正予算からの変更点として、先日の国際強化マッチでの日本代表合宿費用増が報告された。また昨年のU21男子「ジョホールカップ」関係の請求が先日あり、今後は当事者だけではなく事務局でもフォローし、未請求のものは未払金を立てるようにする」と説明があった。HJL 真理事長から「国際強化マッチは予算内で事業を実施するというのをこれからもやってほしい」と話があった。

##### ② 正会員・有識者協議会

石川専務理事から「第2回 JHA 執行部と正会員等代表者との協議について」配付されている資料にもとづき説明があった。HJL 真理事長から補足として「SOMPO JAPAN CUP」と「銀行借入」について確認があった。奥田好廣理事から「正会員・有識者協議会で報告は受けているが総会で指摘された決算書について、理事会での再協議は必要ではないのか？」との質問があった。石川専務理事から「赤字の主な要因はすでに明確にして説明済みである。インドアホッケー大会と SOMPO JAPAN CUP についての手続き上の不備については事実調査中であり、問題があった点は理事会でも説明して議論したいと考えている」と報告があった。

##### ③ 財務総括部の人事について

石川専務理事から、前回の理事会で前総務委員長の瀧上正志氏の財務総括部共同部長就任を報告したが、その後、ご本人から辞退したいとの話があったため、本件は白紙になったと報告があった。

##### ④ 倫理案件について

奥田竜子理事から、倫理委員会で確認中の元理事の件について状況の報告があった。

##### ⑤ 2023/杭州アジア大会派遣メンバーの変更他

永井強化育成本部長から、アジア大会派遣の女子チームのメンバー変更について報告があった。

##### ⑥ U15 男女日本代表チームの豪州遠征

永井強化育成本部長から、U15 男女日本代表チームの代表選手選考会

及び、代表選手決定について報告があった。

⑦ 2026/愛知名古屋アジア大会のスポーツコーディネーター選考に関する進捗状況

前回の理事会での審議で取り下げとなった候補者選考の件で中村事業本部長から報告があり、競技運営部、国際部でそれぞれ候補者を推薦し、関係者（競技運営部千野部長、国際部安西部長、コーポレート本部多氣多本部長、事業本部中村本部長の4名）で協議し候補者を1名に絞り、業務執行理事会及び理事会で報告し承認をもらえれば、組織委員会に候補者として推薦する予定であると報告があった。

また、9月16日～19日までの「全日本マスターズホッケー大会」（開催地：広島）について中村事業本部長から報告があった。また来年は北海道で開催することが伝えられた。

⑧ 伊藤超短波（株）とのサプライヤー契約の締結

坂本事務局長から「伊藤超短波（株）（所在地：東京都文京区白山）」とのオフィシャルサプライヤー契約について報告があった。

⑨ ホッケー日本代表国際強化マッチ

吉満事務局次長から「ホッケー日本代表国際強化マッチ」の入場者数、チケット販売について報告があった。また、坂本事務局長から次回の理事会で決算および入場者アンケート結果、WEB配信の再生回数結果を報告すると説明があった。

⑩ 100周年記念式典

石川専務理事から、配付されている資料にもとづき説明がされた。開催の目的、日程、場所、規模、費用（会費）等について出席者から意見が出た。今後、仁賀戦略統括本部長を中心に理事数名で「実行委員会」を立ち上げて準備を始めることとなった。

⑪ ホッケーの日の制定に関する検討

坂本事務局長から、配付されている資料にもとづき説明がされた。ホッケーの日を制定するのであればどのような日が良いか今後、検討し理事会で協議し100周年記念式典の際に発表する方向と話があった。

- ⑫ アンチ・ドーピング事案経過と役員教育受講の案内  
埴岡理事からアンチ・ドーピング事案の経過報告があった。また、  
役員のアнти・ドーピング規程の理解のため、10月末までにWEBア  
プリで受講するよう説明があった。
- ⑬ 今後の会議日程  
坂本事務局長から、第3四半期、第4四半期の会議日程について変  
更の説明があった。
- ⑭ コンプライアンス研修  
箸本理事から、年間計画で5月、11月に全理事はコンプライアンス  
研修を受講することになっているため、11月に動画で研修を受講し  
次回の理事会で箸本理事が結果を報告すると話があった。
- ⑮ 強化育成本部より  
永井強化育成本部長より、男子オリンピック予選の開催地は、スペ  
イン、パキスタンの予定であったが、パキスタンが開催を辞退した  
ため、開催地が未定となっていると報告があった。また、サムライ  
ジャパンは、国際強化マッチ後に岡山でカナダと強化試合を2試合  
行うことができたため、平尾理事ならびに岡山県ホッケー協会のご  
尽力に感謝を申し上げますと報告があった。
- ⑯ ホッケータウン認定式について  
柿田理事から、ホッケータウンに認定された18の自治体について、  
今後、「ホッケータウン認定委員会」で、各地での認定式を進めると  
報告があった。

以上をもって議事の審議を終了し、議長は21時35分、閉会を宣言した。